

事業者向け

児童発達支援自己評価

配布数:7、回収数:7、割合:100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・基準は満たしているが、もう少しスペースが広いと活動の幅も広がると感じている。 ・園庭がもう少し広いと、遊びも広がると感じている。自然を活かした遊びが展開しにくいため、園外への活動を増やすなど工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・活動スペースは一階であり、ほぼバリアフリー化されている。ワンフロアのため分かりやすい面、バリエーションに乏しくなるため、パーテーションなどを用いて区切るなど工夫している。 ・個別になる空間の確保が難しい面はある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・毎日、朝・夕と掃除を行い、次亜塩素酸ナトリウムを用いて清掃をしている。また、空気清浄機の使用及び、オゾン殺菌による感染症予防にも努めている。 ・活動に合わせ、パーテーションや巧技台等を用いて、空間を作るようにしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・会議や上司との面談で、業務改善に向けた意見を汲み取っている。また日々の気付きは毎日の振り返りの際に確認している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・昨年度より保護者アンケートを実施し、業務の改善に繋げている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・昨年度より、法人のホームページで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		・第三者評価は法人として導入しており、今後、順次、第三者評価が入ってくる予定である。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・毎年、外部の各種研修に参加しているが、今年度はコロナウイルス感染症の影響で外部研修の参加は限られた。そのため、職員会議でケース会議を行い、講師を招いての勉強会を毎月実施した。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・保護者からの聞き取りや日々の活動の中で子どもの姿を確認し、アセスメント表にまとめている。全員ではないが、発達検査や知能検査を行うことで、より詳細に子どもの姿を掴めるようにしている。取りまとめたアセスメントを参考にし、個別支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・標準化されたアセスメントツールを参考にし、事業所の特徴に応じたものを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・個別支援計画に利用児童の支援目標や支援方法について記載するとともに、家族支援として送迎の実施や相談について記載し、説明している。地域支援については、関係機関との連携や生活状況に応じて相談支援に当たるとしている。今後も必要に応じて適宜見直しをしていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・毎月の職員会議、療育会議で個々の個別支援計画に沿った支援を確認している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・月案(一ヶ月の活動プログラムの案)は担当職員が中心となって案立てし、それを受けて日案(一日の詳細なプログラム)を職員全員で検討・組み立てをしてから、実行している。毎日の振り返りは出勤職員全員で行い、次の活動へ活かしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・子どもの姿を怠慢に置きながら、季節を大事にした活動を提供できるようにしている。子どもの反応や保護者からの意見も取り入れながら、適宜、見直しを図るようにしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・個々人へ焦点をあてつつも、集団活動を意識したものとしている。また、日々の振り返りや会議で出た意見を活動・計画へ反映できるようにしている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・毎朝の朝礼の際に事務連絡・利用児の確認・活動内容の確認・職員の役割などを確認している。また、終礼時にも翌日の確認を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・毎日、支援終了後に必ず振り返りの時間を取り、職員間で共有している。また、記録を取り、休みの職員も確認している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・支援終了後の振り返りは記録を取りながら行っている。支援の検証・改善へ繋げている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・半期に一度、定期的に見直しを行い、次に繋がる支援計画を作成している。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	・子どもや保護者の状況に応じて、サービス担当者会議の依頼をすることもある。会議が開催される際は、担当者または児発管が参加するようにしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	・関係機関との情報共有を含め、必要に応じて連携をしている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	・医療的ケアが必要なお子さんや重症心身障がい児のお子さんの受け入れはしていない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	・医療的ケアが必要なお子さんや重症心身障がい児のお子さんの受け入れはしていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	・連携が必要なケースについては、情報共有を主とした連携を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	・就学先の学校見学に同行した際、その場で可能な情報共有はしているが、それ以上の支援はしておらず十分とは言えない。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	・児童発達支援センター主催の研修会等には参加するようにしている。また、他の研修会等への参加についても、可能な範囲で参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	・併行通園のお子さんが大半ということもあり、特別な試みは行っていない。 ・公園などで活動している際、公園にいる子どもたちと一緒に遊ぶことはある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	・事業所管理者が自立支援協議会(福山市総合支援協議会)の部会へ委員として参加。また、その他、関係機関・事業所が集まる連絡会等へも参加をしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	・連絡帳を用いて日々の様子は伝えあっている。また、必要に応じて電話連絡や面談等を行っている。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	・プログラムを組んでの支援は行っていないが、懇談会や個別相談を通して、大切なことや関わりについて話をしている。また、親子クラスについては、振り返りの時間を設けて話をしている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	・利用契約時に説明をしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	・毎年、5月～6月、10月～11月、2月～3月に個別懇談の時間を取っている。その際、同意を頂き、署名捺印を頂くようにしている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	・本来は、参観日でのクラス懇談会が該当したのだが、今年度は、コロナウイルス感染症対策のため、ほとんど出来なかった。しかし、必要に応じて、お話を伺い助言や支援等行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	・上記の通り、クラス懇談会が出来ない状況であったため、隔月であるが、茶話会の場を設けた。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	・連絡帳を用いて、日々の様子や保護者の気持ちを書いていただいている。その日のうちに対応するよう心掛けている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	・隔月で「つうしん」という名の会報を作成し、活動報告を行っている。また、月末であるが翌月の活動スケジュールもお渡ししている。また、活動の変更や案内等ある際は、その都度、案内文章をお渡している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	・個人情報同意書を作成し、活用している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	・子どもに対しては、例えば目で見て分かるような配慮・工夫を行っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	・事業所単位では行っていないが、法人として地域行事への参加を含め、法人が企画した行事等への参加をしていただいている。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	<input type="radio"/>	○	・災害を想定した退避訓練は行っている。感染症対応のマニュアルについては特に今年度は力を入れて対処した。引き続き、各種マニュアルの見直しを行う。 ・保護者への周知については改善の余地がある。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>		・2月に退避訓練を行った。今後も退避訓練を行う予定である。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>		・利用開始前(契約時等)、保護者の方から聞き取りをし、フェイスシートにも記載してもらっている。その情報を元に確認をしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>		・まず保護者に確認をしている。現状は保護者確認で良いが、今後、必要な状況があれば、当然、医師に確認を取って行く。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>		・法人規定のヒヤリハット報告書があり、活用している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>		・法人内には虐待防止委員会が設置されており、法人内で確認・共有できるようになっている。委員会主催の研修会も毎年、行われている(今年度はコロナウイルス対策の観点から、研修会は行われていないものの、各事業所毎での勉強会は行われ
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	<input type="radio"/>		・計画への記載はしていないが、契約書へ記載し説明を行っている。 ・危険な行動があった際、場合によっては行動を止めることもある。 ・身体拘束を行うケースはない。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

保護者等向け 儿童発達支援評価表

配布数37、回収数30、割合:81%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	2		1		・室内でも工夫されて楽しめていただけた外のお散歩など多くあります。 ・別の療育に通っていないこともあります。 ・別々の先生方でよく見てくださっています。	基準は満たしていますが、屋内や園庭の広さには限界があります。引き続き、工夫しながら対応していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	29	1					配置基準は満たしています。専門性については、今後も積極的に研修等へ参加していき質の向上に努めます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※iになっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、「バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	28			2			危険と思われる個所については、修繕・購入を検討しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28	2				・園庭の遊具を新しくしてはどうでしょうか。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※iiが作成されているか	28	1		1		・よく見てくださっています。	利用開始前に、保護者の方からお話を伺い、また、お子さんの様子を確認した上で、計画作成を行っています。その際、ガイドラインを参考しながら作成しています。
	6 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	3		2			支援、活動については、並行通園のお子さんが大半という状況を考慮した内容となっています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	29	1				・いつも子どもたちの成長具合にあわせた活動をしてもらえて満足しています。	
	8 活動プログラム※iiiが固定化しないよう工夫されているか	27	2		1		・毎月、色々と工夫されていて満足です。 ・季節によって療育内容が変わっていて良いと思います。	日々の振り返りを元に、毎月、会議を設け、活動のプログラムを立てています。 引き続き、スタッフ全員で活動の狙い・意図をシェアしていきます。お便り等でもお伝えしていただたらと思います。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13	2	8	7		・保育園と連携しているので、すてっぷ・園お互いに伝えており、先生同士でも連携が取れているので良いと思います。 ・交流しているかどうか分からな	並行通園のお子さんが大半ですので、現状では考えておりません。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	1		1			利用開始前の説明会や契約の際に、ご説明させていただいているが、懇談の際なども活用しながら再度、お伝えしていけるようにします。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	28	2					
保護者への説明等	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング※iv等）が行われているか	20	3	1	6		・いつも悩みを聞いていただき細やかなアドバイスをいただいて感謝しています。 ・声掛けで困ったことがあれば連絡帳に記載し、その都度、お答えいただいているので良いと思います。	ご相談がある際は、職員が対応させていただいているが、ペアレントトレーニングとしては行っておりません。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	29	1				・保育園で起こったことはすてっぷへ伝え、すてっぷで行われたことはその日のうちに聞くようにして情報を得られているので良いと思う。	連絡帳を活用し、日々の様子をお伝えしています。また、保護者の方とのお話を機会がどうしても限られています。保護者の方から気軽にお話ししていただけるよう、顔の分かる関係性作りを努めています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30					・とても親切で丁寧に相談にてくれる。 ・面談では相談しやすく、いつもためになる話が出来て満足しています。 ・よく相談させていただき、対応してもらっています。 ・決められた時に面談があり、それには家族で参加しているので、行われていると思う。	単独通園の方については、保護者の方とのお話を機会がどうしても限られています。保護者の方から気軽にお話ししていただけるよう、顔の分かる関係性作りを努めています。 今後も専門性の向上と共に、保護者の方と一緒に、お子さんの理解を深めていけるよう努力してまいります。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	23	4		3		・コロナの中で集まることは難しいと思いますが、茶話会のようなことが出来たら嬉しいです。 ・コロナもあれば参加がなかなかできませんが予定してくださっています。 ・コロナウイルス拡大のため、参観日や座談会が行われていたが、仕事の休みをこれ以上取れないため、参加したくても参加できなかつた。	コロナウイルス感染症の影響もあり、参観日が出来ない状況が続いています。代わりに茶話会を2ヶ月に1度、開いていますが、改善の余地があります。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	28			2		・丁寧に対応して下さいます。	ご相談がありましたら、なるべく早く対応できるようしております。基本的には児童発達支援管理責任者、クラス担当が対応させていただくようになりますが、どの職員でもご相談に対応できるよう、情報共有を図つてまいります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	1			4	・連絡帳を通じて行えている。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	25			1	4		2ヶ月に一度、「つうしん」という名の会報を準備し、活動内容や行事についてお伝えをしています。自己評価の結果については、法人ホームページの情報公開で見る事が出来るようにしています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	24	1		1	4		個人情報の取り扱いについては、利用開始前に確認・同意を頂いております。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	15	5	2	4	4	・コロナについては対応説明していただいている。防犯は？	消火器及び火災報知機の点検は定期的に実施しておりますが、各種マニュアルについては、説明会や契約時に説明させていただいています。感染症の予防については、日常的に衛生管理を行っております。引き続き、対応をしてまいります。避難訓練は実施しましたが、実施回数がまだ少ないため、引き続き、計画していきたいと思います。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	3	2	11	4		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	26				4	・毎週行くことを楽しみにしている。 ・何よりも楽しみにしています！ ・毎回楽しみに喜んで通っています。 ・好きで通っているので毎週楽しみにしている。	保護者の皆さんにとって安心してお子さんを預けて頂ける事業所を目指し、今後も努力してまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	25	1			4	・とても満足しています！ありがとうございます。 ・大満足です。 ・本人が楽しんで喜んで通っているので満足です。	「楽しかった！」「また行きたい！」と、お子さんの気持ちが前のめりになるよう中身の充実を図っていきたいと思います。